

学校の概要

宮内小学校区は、北の平良小学校区、バイパスを境に東の金剛寺小学校区、南東の地御前小学校区と接している。また、学校の北西に宮園小学校区及び四季が丘小学校区があり、そこを迂回するように県道佐伯線に沿ってさらに北西に校区がのびて明石黒折地区がある。その児童はバスで通学している。

その昔、農業が中心であった学校の周辺の市街化が進み、また校区周辺の山の斜面の宅地造成も進み、児童増のため昭和62年度の金剛寺小学校が、平成2年に宮園小学校が、平成4年に四季が丘小学校が新設され、本校から分離した。

校区内では、マンションや一戸建の住宅建設もあるが、児童数は微減の傾向にある。

学校の沿革

- 明治 5年 「学制」発布の年、専念寺に「潤身舎」を設置
- 明治23年 宮内尋常高等小学校と改称
- 大正11年 宮内村立宮内実業補修学校を付設
- 昭和16年 宮内国民学校と改称
- 昭和22年 宮内国民学校を「宮内村立宮内小学校」と改称
- 昭和31年 町村合併により、宮内村立宮内小学校を「廿日市町立宮内小学校」と改称
- 昭和41年 山口宝一氏の寄付により「宮内育英会」が発足
- 昭和48年 宮内小学校百周年記念事業として宮内小学校誌を刊行
- 昭和60年 文部省より心身障害児理解推進校として指定
- 昭和62年 金剛寺小学校新設、分離
- 昭和63年 市制施行により「廿日市市立宮内小学校」と改称
- 平成 2年 宮園小学校新設、分離
- 平成 4年 四季が丘小学校新設、分離
- 学校5日制調査協力校として文部省より地域指定
- 平成16～18年 小学校不登校対策実践指定校
- 平成19年 第42回広島県小学校理科研究大会開催
- 平成20年 公開研究会開催（以降、毎年公開研究会実施）
- 平成21年 学習支援室(リフレッシュルーム)設置
- 平成23年 野坂中校区夏季合同研修会スタート
- 平成24年 初任者研修拠点校
- 平成26年 体育館耐震工事
- 平成29年 小学校生徒指導実践指定校
- 平成30年 野坂中学校区公開研究会開催